委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】

受託団体名　NPO法人国際支援地球村

1．事業名称　復興と共にすすめる日本語教育と多文化共生社会の体制整備事業2

2．事業の目的
被災地の住民の一人として、震災復興支援事業(心の復興支援活動等)に参加し、日本語教室で習得した日本語を使って、地域住民と実践的なふれあいを通じて、コミュニケーション能力向上をはかり、多文化共生の体制整備を行う。

3．事業内容の概要
平成25年度実施「復興と共にすすめる日本語教育と多文化共生社会の体制整備事業」の継続。さらに、地域社会の一員として社会貢献できる人材育成の支援活動を実施。
〇防災日本語教室(オリジナル防災マップを作ろう、地名を読もう)
〇日本語交流サロン(外国人専門カウンセラーを招き心の表現を学習、学習したことばを使用した交流会)
〇食を通して地域住民との交流会(地域の伝統料理教室)
〇地域イベントの参加(地球フェスタ参加)

4．運営委員会の開催について
【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月24日（土）13:00～16:00 16:00～18:00	3時間	ハヨンコリア会議室	高須賀　精一郎 木村　正樹 澤邉　裕子 梶原　美佳	①「復興と共にすすめる日本語教育と多文化共生社会の体制整備事業2」開催について ・事業申請の経緯と現状 ②事業計画(取組1～4、プログラムについて) ・受講生の募集方法 ・開催日程 ・使用教科書 ・学習項目 ・予算計画 ③質疑応答、意見交換	学習項目・取組1～4の具体的内容について・・・それぞれ内容を説明、昨年度に引き続き特色ある取組にすること、地域住民の方と交流も多い取組もあるので、コミュニケーション能力を高める日本語学習と、災害に対応できる日本語能力を高めることにも重点をおくことにすることに決定。
	平成27年2月28日（土）13:00～16:00	3時間	ハヨンコリア会議室	高須賀　精一郎 木村　正樹 澤邉　裕子 梶原　美佳	①「復興と共にすすめる日本語教育と多文化共生社会の体制整備事業2」実施終了報告 ・事業の成果と課題 ・運営費報告 ②質疑応答、意見交換	コーディネーターが各取組（1～4）について実施内容を報告。地域住民との交流を持ち多文化共生の体制整備の基盤作りを継続、それと同時に課題も発見したことなど報告。課題解決のための意見交換を実施。

5．取組についての報告

〇取組1：食を通して地域住民との交流会(地域の伝統料理教室)

（1）　体制整備に向けた取組の目標
学習者が自ら能動的に地域社会に溶け込み、習得した日本語を使ってコミュニケーション能力を向上させる。
食を通して地域住民と交流、被災地の住民の一人として心の復興支援活動を実施する。
地域社会と連携を持ち、災害時に協力し合える体制をつくる。

（2）　取組内容
〇地域住民(被災住民含む)と定住外国人の食を通した交流会
〇地域の伝統料理教室の実施(お盆料理・おせち料理)

（3）　対象者　定住外国人、地域住民

（4）　参加者の総数　27人

出身・国籍別内訳

中国	5人	インドネシア	人	
韓国	11人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	11人	

（5）　開催時間数（回数）　20時間　（全　10回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者
1	平成26年6月24日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(3人)、韓国(5人)	地域の行事と伝統料理(お盆料理)	地域の伝統料理教室を実施するにあたり、石巻地方の行事と行事食の説明と日程のお知らせ。取組の主旨を理解する。	日野美根子	
2	平成26年7月1日 10:00～12:00	2時間	丸井戸集会所(借料・無料)	11人	中国(3人)、韓国(5人)日本(3人)	地域の行事と伝統料理(お盆料理)	伝統料理教室で作るメニューの謂れを知る。(五色そうめん、滝川豆腐、茄子のずんだ和え)実際にどんなものをお盆料理に作るのか地域住民の方から教えてもらいコミュニケーション活動実施。	日野美根子	
3	平成26年7月8日 10:00～12:00	2時間	丸井戸集会所(借料・無料)	12人	中国(3人)、韓国(6人)日本(3人)	地域の行事と伝統料理(お盆料理)	伝統料理教室で作るメニューのレシピの内容を学習。(五色そうめん、滝川豆腐、茄子のずんだ和え)地域住民の方からも作り方等教えてもらいコミュニケーション活動実施。	日野美根子	
4	平成26年7月11日 10:00～12:00	2時間	石巻公民館調理室	16人	中国(4人)、韓国(5人)日本(7人)	地域の行事と伝統料理(お盆料理)料理を通して地域住民と交流	料理教室実施。レシピをもとにお盆料理を3品。料理講師から地域のお盆についての説明を受け地域住民と共に調理実施。その後試食しながら交流会。	色川恭子 日野美根子	
5	平成26年7月15日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国(4人)、韓国(5人)	地域の行事と伝統料理(お盆料理)	料理教室実施後の振り返り。料理講師のお盆の説明やレシピの内容で理解が出来なかったことばの確認、学習。伝統料理を実際に作った感想等	日野美根子	
6	平成26年10月21日 10:00～12:00	2時間	丸井戸集会所(借料・無料)	11人	中国(4)、韓国(6)日本(1)	地域の行事と伝統料理(お正月料理)	地域の伝統料理教室を実施するにあたり、石巻地方の行事と行事食の説明と日程のお知らせ。取組の主旨を理解する。(お正月料理3品)地域住民の方にお正月の過ごし方について話しを聞き交流実施。	日野美根子	
7	平成26年10月28日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	13人	中国(4人)、韓国(9人)	地域の行事と伝統料理(お正月料理)	お正月をする理由を理解し石巻地方のお正月とおせち料理について学習。伝統料理教室で作るメニューのレシピの内容を理解する(調理のことばの表現、漢字の学習)	日野美根子	
8	平成26年11月4日 10:00～12:00	2時間	生協キッチン	14人	中国(3)、韓国(6)日本(5)	地域の行事と伝統料理(お正月料理)	料理教室実施。レシピをもとにお正月料理を3品。料理講師から地域のおせち料理についての説明を受け地域住民と共に調理実施。その後試食しながら交流会。	色川恭子 日野美根子	
9	平成26年11月14日 10:00～12:00	2時間	丸井戸集会所(借料・無料)	10人	中国(3)、韓国(6)日本(1)	地域の行事と伝統料理(お正月料理)	料理教室実施後の振り返り。実施した中でわからなかったことば、表現の理解。おせち料理を作ってみての感想や地域の方との交流の感想や反省など発表。	日野美根子	
10	平成26年11月18日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(3人)、韓国(5人)	地域の行事と伝統料理(お正月料理)	地域の方とおせち料理を一緒に作ったり交流を持ち様々な経験をしたことから、日本の文化習慣について感じたこと、地域の方と交流して感じたことなどグループで話し合ってもらい、これからの生活の中で何か変わることがあるか発表してもらう。、	日野美根子	

（7）　参加者の募集方法

近隣応急仮設住宅掲示板にてお知らせ及び日本語学習者の口コミにて石巻在住外国人に参加呼びかけ

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

7月11日　料理教室実施（地域の伝統料理・お盆料理3品）

料理教室実施の前に、今回作る献立（五色そーめん、滝川豆腐、茄子のずんだ和え）の謂れを学習。
料理の手順、調理器具の名称、使い方を学習した後、外国人と地域住民一緒のグループを作り、テーブルごと作業を開始。学習者は地域の方から家庭ではおしえてもらったことがない日本語の表現や方言をコミュニケーションを取りながら習得。また調理方法や作業手順等、ベテラン主婦の地域住民からアドバイスをもらうなど、習った日本語を実践の場で生かしながらコミュニケーションを取り、お盆料理3品を完成させた。

10月21日　地域住民の方からこの地方の伝統的なお正月の過ごし方について話しをうかがった。
昔から伝わるお正月のあそびやお年玉等の文化や習慣、この地域ならではの伝統的な風習について方言を交えながら教えていただいた。

１１月5日　料理教室実施（地域の伝統料理・お正月料理3品）
この地方に伝わるお正月料理3品（お雑煮、なます、はんぺんで伊達巻風）を作る。
はじめに今回作る料理について説明を受け、お正月料理の一品一品に意味があることを学習。講師が今回作る料理の他に伝統的なお正月料理を2品持参してきたものを味見させてもらい、説明を受け、意味を理解しながら日本の食文化を学習。料理の手順、調理器具の名称、使い方を学習した後、地域住民と学習者混合グループを作り、調理実習。コミュニケーションをとりながらお正月料理3品を完成させた。

（9）　取組の目標の達成状況・成果
学習者にアンケート調査の結果、自分の家族以外の人と一緒に料理をすることが初めての学習者が多く、家庭ではおしえてもらえなかったことばや表現を調理を通して地域の方におしえてもらったり良い勉強ができたと、学習した日本語を駆使しながら地域の方とコミュニケーションを取り料理を完成させ、食を通して地域住民と交流、コミュニケーション能力を高めた成果が得られた。
料理教室参加者アンケート調査の結果、被災した地域住民の方からは、震災以降、おせち料理を初めて作って食べたと喜んでいただいたり、楽しかったと声をいただき、被災地の住民の一人として心の復興支援活動を実施でき地域社会に少し貢献できた喜びと成果が得られた。

（10）　改善点について
料理教室実施中に講師の指示を理解しながらも従わず先に進んだり、勝手な行動を取る学習者が多くみられた。
相手の立場を考えた行動や自分の立場を考えたマナーを身につけられるような内容の授業も今後取り入れたい。

〇取組2：防災日本語教室(オリジナルマップを作ろう・地名を読もう)

（1）　体制整備に向けた取組の目標　日常生活に必要な日本語学習はもとより、地域社会の一員としての役割を果たせる日本語を習得し、地域住民と対等な関係を築くためのコミュニケーション能力向上を目指す。
昨年度に引き続き、被災地での暮らしの情報提供および東日本大震災を教訓に防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習する。

（2）　取組内容
〇日常生活に必要な日本語学習
〇地域文化、習慣、ルールを理解する日本語学習
〇防災オリジナルマップを作ろう(地名を読む・居場所・避難所を把握する)
〇復興状況、被災地での暮らしの情報等をわかりやすく提供および防災用語日本語学習

（3）　対象者　定住外国人
（4）　参加者の総数＿＿＿＿22人
出身・国籍別内訳

中国	7人	インドネシア	人	
韓国	12人	タイ	人	キューバ（1人）
ブラジル	人	ペルー	1人	
ベトナム	人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	人	

（5）　開催時間数（回数）＿＿70時間　＿＿（全　35回）＿＿

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者
1	平成26年6月13日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国（4人）、韓国（6人）	自己紹介と日本語教室学習内容、各取組活動の案内	開講式および自己紹介。一年間の取り組み内容の説明。参加者の日本語能力チェックのための簡単な書き、文法確認。誤解されやすい表現、正しい表現の学習。	日野美根子	千葉恵利子
2	平成26年6月20日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国（3人）、韓国（5人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	市報より暮らしに役立つ情報提供。日本語教育コンテンツ「NEWS」より教材を使用、生活に役立つことばの学習（健康診断、薬局で）	日野美根子	千葉恵利子
3	平成26年6月27日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国（3人）、韓国（6人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	市報に良く出てくることばの学習。自分で情報を理解できるよう良く出る漢字の意味を理解する（移転、集団、再建、支援等）	日野美根子	千葉恵利子
4	平成26年7月4日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国（3人）、韓国（7人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	地名を読もう（石巻市内の地名が読めるかチェックを実施。）日常生活に必要な日本語学習。文法	日野美根子	千葉恵利子
5	平成26年7月18日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国（4人）、韓国（7人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	被災地の復興状況の共有と暮らしに役立つ情報提供（復興公営住宅の建設予定地の進行状況を把握、地域の地理を把握）	日野美根子	千葉恵利子
6	平成26年7月25日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国（5人）、韓国（5人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	日常生活に必要な日本語学習。誤解される表現、正しい表現。発音の違いによって誤解が生じることの学習。（撥音、長音、濁音）	日野美根子	千葉恵利子
7	平成26年8月1日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国（3人）、韓国（6人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	暮らしに役立つ情報提供（本日地域最大の祭り川開きの為広範囲において交通規制あり）その為看板や警備のことばを理解できるよう学習（迂回、花火大会会場7、規制、通り抜け、通行止め、一方通行等）	日野美根子	千葉恵利子
8	平成26年8月8日 10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国（2人）、韓国（5人）	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む①（石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む）日本文化のマナーの学習（お盆の過ごし方）	日野美根子	千葉恵利子

9	平成26年8月22日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(4人)、韓国(4人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む②(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習。夏休みの思い出を書きの練習実施。	日野美根子	千葉恵利子
10	平成26年8月26日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国(1人)、韓国(7人)キューバ(1人)ペルー(1人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む③(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習。文法(撥音、長音、濁音)	日野美根子	千葉恵利子
11	平成26年8月29日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国(3人)、韓国(4人)キューバ(1人)ペルー(1人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む④(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習。丁寧な表現方法の学習。	日野美根子	千葉恵利子
12	平成26年9月5日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国(4人)、韓国(4人)キューバ(1人)ペルー(1人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む⑤(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習(小さい「つ」、ん、うの有無、ちいさい「よ」の苦手克服学習)、9/8十五夜について文化風習の学習	日野美根子	千葉恵利子
13	平成26年9月9日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国(2人)、韓国(5人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む⑥(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習(生活でよく耳にするがはっきり理解できないことばの学習、動詞ゆすぐすすぐ他)	日野美根子	千葉恵利子
14	平成26年9月12日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(2人)、韓国(5人)キューバ(1人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む⑦(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習(イ形容詞ナ形容詞の学習)	日野美根子	千葉恵利子
15	平成26年9月19日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国(2人)、韓国(5人)キューバ(1人)ペルー(1人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む⑧(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習(漢字)	日野美根子	千葉恵利子
16	平成26年10月3日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(4人)、韓国(4人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作ろう・地名を読む⑨(石巻市内の地図を見ながら漢字の地名の学習。自分の地図にふりがなと母国語を書き込む)日常生活に必要な日本語学習。意外とはっきりわからないオノマトペの学習	日野美根子	千葉恵利子
17	平成26年10月10日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(2人)、韓国(6人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(地図を見ながら各地の避難所を探しマークする①)地域の地理を把握する。日常生活に必要な日本語学習(文法・使役形)	日野美根子	千葉恵利子
18	平成26年10月17日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(2人)、韓国(6人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(地図を見ながら各地の避難所を探しマークする②)地域の地理を把握する。日常生活に必要な日本語学習(丁寧な表現の学習)	日野美根子	千葉恵利子
19	平成26年10月24日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(3人)、韓国(5人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(地図を見ながら各地の避難所を探しマークする③)地域の地理を把握する。日常生活に必要な日本語学習(尊敬語)	日野美根子	千葉恵利子
20	平成26年10月31日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国(3人)、韓国(5人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(地図を見ながら各地の避難所を探しマークする④)地域の地理を把握する。日常生活に必要な日本語学習(謙譲語)	日野美根子	千葉恵利子

21	平成26年 11月21日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	7人	中国(2 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(地図を見な がら各地の避難所を探しマークする ⑤)地域の地理を把握する。日常生 活に必要な日本語学習(天気予報の ことば)	日野美根子	千葉恵利子
22	平成26年 11月28日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	8人	中国(3 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害時、道 路標識の漢字が緊張してすぐに読め ない場合、ローマ字を読む学習①) 日常生活に必要な日本語学習(パソ コンで使うことばの学習)	日野美根子	千葉恵利子
23	平成26年 12月5日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	7人	中国(2 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害時、道 路標識の漢字が緊張してすぐに読め ない場合、ローマ字を読む学習②) 日常生活に必要な日本語学習(メー ルで使う表現の学習・敬語)	日野美根子	千葉恵利子
24	平成26年 12月9日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	8人	中国(3 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害時、道 路標識の漢字が緊張してすぐに読め ない場合、ローマ字を読む学習③) 日常生活に必要な日本語学習(メー ルで使う表現の学習・丁寧な表現)	日野美根子	千葉恵利子
25	平成26年 12月12日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	9人	中国(2 人)、韓 国(6人) ペルー(1 人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害時、道 路標識の漢字が緊張してすぐに読め ない場合、ローマ字を読む学習④) 日常生活に必要な日本語学習(メー ルで使う表現の学習・友達に)	日野美根子	千葉恵利子
26	平成26年 12月19日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	7人	中国(2 人)、韓 国(4人) ペルー(1 人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施①)日常 生活に必要な日本語学習(お正月に ついて文化習慣の学習)	日野美根子	千葉恵利子
27	平成27年 1月9日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	8人	中国(2 人)、韓 国(6人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施②)日常 生活に必要な日本語学習(コミュニ ケーション力を身につける①丁寧に 頼む、依頼)	日野美根子	千葉恵利子
28	平成27年 1月16日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	9人	中国(2 人)、韓 国(7人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施③)日常 生活に必要な日本語学習(コミュニ ケーション力を身につける②方言の 学習)	日野美根子	千葉恵利子
29	平成27年 1月20日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	11人	中国(3) 韓国(6) ペルー (1)フィリ ピン(1)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施④)日常 生活に必要な日本語学習(コミュニ ケーションを身につける③交渉)	日野美根子	千葉恵利子
30	平成27年 1月23日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	14人	中国(4) 韓国(9) フィリピン (1)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る⑤(現場体験 実施)避難ビル、避難所の場所確認 と万一の場合の避難ビル使用方法 など確認の為見学。実際に避難ビル に上る。備蓄倉庫、備蓄品、シャワー ルーム、日本語表示板の学習等実 際に見学。	日野美根子	千葉恵利子
31	平成27年 1月30日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	8人	中国(3 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施⑥)日常 生活に必要な日本語学習(カタカナ 語彙の学習)	日野美根子	千葉恵利子
32	平成27年 2月6日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	7人	中国(2 人)、韓 国(5人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施⑦)日常 生活に必要な日本語学習(メールで 使う表現の学習・目上の人に))	日野美根子	千葉恵利子
33	平成27年 2月13日 10:00～ 12:00	2時 間	ハヨンコリア 会議室	9人	中国(2 人)、韓 国(7人)	防災知識と復 興状況と暮ら しに役立つ情 報提供。日常 生活に必要な 日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起き た場合を想定し、地図で居場所と避 難所を確認する練習を実施⑧)日常 生活に必要な日本語学習(間違いや すい助詞の表現)	日野美根子	千葉恵利子

34	平成27年2月20日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国(2人)、韓国(5人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起きた場合を想定し、地図で居場所と避難所を確認する練習を実施⑨)日常生活に必要な日本語学習(文化の違いによるマナールールについて)	日野美根子	千葉恵利子
35	平成27年2月27日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国(2人)、韓国(7人)	防災知識と復興状況と暮らしに役立つ情報提供。日常生活に必要な日本語学習	オリジナルマップを作る(災害が起きた場合を想定し、地図で居場所と避難所を確認する練習を実施⑩)日常生活に必要な日本語学習(最終日にあたり学習した成果を作文に書いてもらう)	日野美根子	千葉恵利子

(7)　参加者の募集方法

チラシ配布、ラジオ石巻の多言語放送にて告知、口コミにて石巻在住外国人に参加呼びかけ

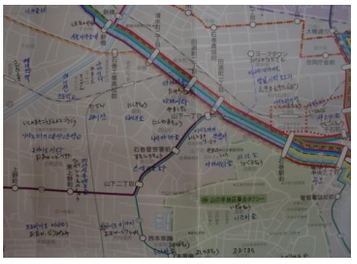
(8)　特徴的な活動風景(2～3回分)

11月21日　オリジナルマップを作る(地図を見ながら各地の避難所を探しマークする⑤地域の地理を把握する。日常生活に必要な日本語学習)

石巻および周辺地域の地図を見ながら地名を読む学習と、それに関連した漢字の学習を実施し漢字表記が読めるよう定着をはかる。周辺にある避難所の場所を確認し日本語と母国語、または自分が読みやすい表記で記入。

教室の津波避難マップで場所を把握し地名の読みの学習

自分の地図にそれぞれ記入



1月23日　現場体験実施(避難所、避難ビルの場所確認と万一の場合の避難ビルの使用方法など確認の為見学)

避難所の場所確認や実際に避難ビルに上らせてもらい、屋上の避難場所確認。備蓄倉庫、備蓄品、シャワールーム、日本語表示板の学習を実施。

避難ビル見学

倉庫内見学

案内表示板

（9）　取組の目標の達成状況・成果
日本語学習者にアンケート調査した結果、日常生活に必要な日本語学習に関しては、毎日の家庭生活では教えてもらえない家庭から一歩出ることばを学習できたこと、家族以外の人との上手なコミュニケーションの取り方（敬語の表現）を習得できた、日本語を人前で話す自信が持てるようになった等地域社会の一員としての役割を果たせる日本語学習を習得し地域住民と対等な関係を築くためのコミュニケーション能力が向上した成果があった。
また、防災オリジナルマップを作ろう（地名を読む、居場所、避難所を把握する）の学習では実際に避難指定場所を把握、避難ビルを見学したことが不安を解消し、万一また津波警報が発令された場合落ち着いて行動できるとの意見が多く防災意識を高め自らの生命財産を守るノウハウを学習する成果があった。

（10）　改善点について
学習者は50代前後の主婦が多く、日本語学習実施回数が少ない時は月3回等の学習では、新しく習得した日本語をその時間で身につけるまでいたらず、すぐ忘れてしまう点が課題としてあげられる。家庭では家事中心の生活のため、学習する時間と環境もなかなか作れない状況。定着するまで学習するには、教室での繰り返しの学習が必要であるため、週2回等定期的な授業を実施する必要がある。

〇取組3：地域イベントの参加（地球フェスタ参加）

（1）　体制整備に向けた取組の目標
〇地域社会の一員として、ワークショップを実施し国際交流を通し社会貢献を行う。
〇人前で日本語を話し交流を持つことで地域社会の一員として自信をつける。
〇各国の文化に触れ交流を持つことで、多文化共生社会への理解を深める。

（2）　取組内容
〇国際交流イベント(せんだい地球フェスタ)参加
〇ワークショップを実施、地域住民と交流
〇世界各地の文化やゲーム、日本の伝統文化、世界や環境について考えるワークショップなどを体験、楽しく学ぶ。

（3）　対象者　　定住外国人
（4）　参加者の総数　　16人
出身・国籍別内訳

中国	5人	インドネシア	人	
韓国	8人	タイ	人	
ブラジル	1人	ペルー	2人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

（5）　開催時間数（回数）　　9時間　　（全　4回）
（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者
1	平成26年7月22日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	9人	中国（3人）、韓国（6人）	地域住民と交流（地球フェスタに参加しよう）	8月3日仙台国際センターで開催される地域住民との交流が持てるイベントへ参加することの説明と学習者が参加するワールドカフェについての説明。注意点、ルールなど。	日野美根子	千葉恵利子
2	平成26年7月29日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	12人	中国（5人）、韓国（5人）ペルー（2人）	地域住民と交流（地球フェスタに参加しよう）	地球フェスタに行った際の行動ルールについて意思統一。ワールドカフェ時間内ローテーション作り。グループ、順番、時間帯等	日野美根子	千葉恵利子
3	平成26年8月3日10:00～13:00	3時間	仙台国際センター（借料・無料）	16人＋1人（参加者の子供）	中国（5人）、韓国（8人）ブラジル（1人）ペルー（2人）日本（1人）	地域住民と交流（地球フェスタに参加しよう）	地球フェスタ開催。ワールドカフェ参加。地域住民との交流会実施。	日野美根子	千葉恵利子
4	平成26年8月5日10:00～12:00	2時間	ハヨンコリア会議室	10人	中国（4人）、韓国（6人）	地域住民と交流（地球フェスタに参加しよう）	地球フェスタに参加してみて振り返り。ワールドカフェで地域住民との交流会を通して感じたこと反省など次回に繋げる話し合いの実施	日野美根子	千葉恵利子

（7）　参加者の募集方法

日本語教室学習者の口コミにて石巻定住外国人に呼びかけ

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）
8月3日　地球フェスタ開催、ワールドカフェ参加。地域住民との交流会実施。
参加者を4グループに分け、それぞれカフェのテーブルに着席し地域住民と交流。
外国に興味のある地域住民とカフェ形式でそれぞれの国について質疑応答というよりは自然な会話が楽しめるような雰囲気で学習者たちは日頃の日本語学習の実践の場として有意義に過ごした。空き時間に世界各地のゲームや日本の伝統文化、世界や環境について考えるワークショップなど体験した。

8月5日　地球フェスタに参加して振り返り
ワールドカフェに参加し地域住民との交流についてコミュニケーションの中で不明な点の確認や反省点を話し合った。
参加した地域住民の中には外国に興味が強い方が多かった為、レベルが高い会話に戸惑った学習者が多かったが、もっと知らない表現を覚えたいと学習意欲が高まった。地域住民との交流は良い刺激になった。

（9）　取組の目標の達成状況・成果
学習者のアンケート調査の結果、外国に興味がある方と日本語で交流を持てて楽しかった、自信がついた、自分の日本語能力はまだまだ、勉強をもっとしなければなど、人前で日本語を話し交流を持つことで良い刺激を受けたり、地域社会の一員として自信が持てるようになり大きな成果を得られた。国際交流を通し社会貢献を実施できた。

（10）　改善点について
多文化共生社会への理解を深めるためには、自分の国と日本との歴史問題など、とっさにふられたときにも上手にコミュニケーションを取りながら答えたりかわしたりする方法を身につける学習が必要。

〇取組4：日本語交流サロン

（1）　体制整備に向けた取組の目標
多文化専門アドバイザーの配置。被災地の不安等心理的問題、家庭問題、子供の教育問題をついて話したり、学んだりすることのサロンを実施し、日本語での交流を通して、日本語を学ぶと同時に不安を減らす。

（2）　取組内容
〇被災地で暮らす不安、家庭問題、子育て等様々な心理的問題について話したり学んだりするサロンの実施
〇カウンセリングで使用する言葉(こころの表現)の学習
〇学習した言葉(こころの表現)を使用したカウンセリングの実施
〇東北の文化、風土、気質の学習とそれに対応するための心構えの学習
〇日常生活に必要な日本語学習
〇地域文化、習慣、ルールを理解する日本語学習
〇防災オリジナルマップを作ろう(地名を読む・居場所・避難所を把握する)
〇復興状況、被災地での暮らしの情報等をわかりやすく提供および防災用語日本語学習

（3）　対象者　定住外国人
（4）　参加者の総数＿＿＿＿11人
　　出身・国籍別内訳

中国	4人	インドネシア	人	
韓国	7人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	人	

（5）　開催時間数（回数）＿15時間＿　（全　5回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者
1	平成26年7月18日13：00～16：00	3時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国（4人）、韓国（3人）	オリエンテーション	オリエンテーション、趣旨等の説明、自己紹介をしながら他人に自分を紹介するに当たって必要な日本語の学習。その後、交流会を行う。	李　仁子	日野　美根子
2	平成26年8月4日13：00～16：00	3時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国（5人）、韓国（3人）	日本の「家」	日本の「家」に関する日本語で、東北地域で付き合う範囲の親族の呼称を中心に学習する。その後、交流会を行う。	李　仁子	日野　美根子
3	平成26年9月25日13：00～16：00	3時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国（3人）、韓国（4人）	「心の状態説明」	「心の状態説明」に関する日本語で、人間関係から生じる気持ちの表現を中心に学習する。その後、交流会を行う。	李　仁子	日野　美根子
4	平成26年10月24日13：00～16：00	3時間	ハヨンコリア会議室	7人	中国（3人）、韓国（4人）	文化の差1	受講生の自国の文化と日本の文化の差から生まれる葛藤を表現する日本語を中心に学習する。その後、交流会を行う。	李　仁子	日野　美根子
5	平成27年1月20日13：00～16：00	3時間	ハヨンコリア会議室	8人	中国（4人）、韓国（4人）	文化の差2	自国の文化と日本の文化の差が生み出す面白さや困難さを表現する日本語を学習しながら、それらの具体的な事例を取り上げる。その後、交流会を行う。	李　仁子	日野　美根子

（7）　参加者の募集方法
チラシ配布、ラジオ石巻の多言語放送にて告知、口コミにて石巻在住外国人に参加呼びかけ

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）
10月24日　学習者の自国の文化と日本の文化の差から生まれる葛藤を表現する日本語を中心に学習。多文化アドバイザである指導者が日本語の我慢と辛抱の違いについて、わかりやすく学習者に説明。自らも日本で働く外国人である立場、日本人の妻であることなど、経験をもとに話し学習者の理解を深めた授業を実施。その後習った表現を用いて学習者がそれぞれ自由に話しをする交流会を実施。

（9）　取組の目標の達成状況・成果
学習者のアンケート調査の結果、多文化アドバイザによる心の状態を表現する日本語等を学習し、その後の交流会で自分の心の状態を学習した表現を用いて話し皆と共有でき、心が軽くなったとの意見が多かった。
気兼ねなく家庭での問題や子どもの教育問題、その他心理的問題の話しができる交流会の実施は学習者の不安を解消した成果が得られた。

（10）　改善点について
もっと習得してほしい心の表現があるが、限られた授業回数の中では限界があり、学習者に対してきめ細やかな心のケアまではいたらない点もあった。回数を増やし継続的な支援を実施する必要がある。

6.　事業に対する評価について

（1）　事業の目的
被災地の住民の一人として、震災復興支援事業（心の復興支援活動）に参加し、日本語教室で習得した日本語を使って、地域住民と実践的なふれあいを通じて、コミュニケーション能力向上をはかり、多文化共生の体制整備を行う。

（2）　事業目的の達成状況
学習者のアンケート調査の結果、全ての取り組みを通して日本語教室で習得した日本語を使い、地域住民あるいは外国人同士との会話に自信が持てたと、コミュニケーション能力が向上したことにおいては目標達成できた。

（3） 地域における事業の効果，成果

食と通して地域住民との交流会においては、地域住民のアンケート調査の結果、震災以降お盆料理やおせち料理を手作りして食べたことがなかった方が料理教室に参加し外国人と共に調理したことが楽しかったとの声をいただき、学習者の明るさとコミュニケーションが心の復興支援活動が微力ではあるが達成できた。

（4） 改善点，今後の課題について
ⅰ　現状
全ての取り組みを通して、多文化共生社会の体制整備を目指し事業を実施してきたが、地域住民との交流は一時的な交流で終わることが多く、教室を離れれば、繋がりが途切れてしまう現状。

ⅱ　今後の課題
外国人と地域住民の交流の中で、文化の違いから生じる違和感（一回だけの付き合いならお互い見てみないふりをする、大目にみるなど遠慮）があるため、多文化共生に結び付けるには外国人の日本文化、習慣の理解、地域住民の異文化理解を深める活動が必要。

ⅲ　今後の活動予定
日本語教室で習得した日本語を使って家族や地域住民と円滑なコミュニケーションと異文化理解を深める活動を実施しながら復興と共に多文化共生社会の実現に向けて活動する。

（5） その他参考資料　提出物・事業開催お知らせチラシ、アンケート調査結果

文化庁委託事業

地域文化体験
日本語教室

★日常の会話だけでなく、災害に役立つ日本語の勉強をします。
★たのしいイベントや地域のみなさんとの交流もあります。

《開催期間》 H26年6月～H27年3月
※スケジュール表をさしあげます。下記にご連絡ください。

《場　所》 NPO法人 国際支援地球村

《対　象》 外国人の方

《参加費》 無料

お問い合わせ・申込み

☎0225-90-3033　090-2603-4879
（韓国語・中国語可）

《協力団体》石巻市復興政策部地域協働課・東北大学大学院教育学研究科

多文化共生センター みやぎ
がオープンしました。
遊びに来て下さい。

NPO法人 国際支援地球村

NPO法人国際支援地球村
chikyuumura
2009.CHIKYUUMURA

石巻市蛇田字中埣18-7
（国道108号線沿い 蛇田小近く）